

平成26年度から平成28年度において、高カロリー輸液製剤また経腸栄養剤を使用した患者様へ

作成日 平成 29年 7月 18日

研究「NST活動における経静脈栄養処方状況の変化の検討」の実施について

1. 本研究の意義および目的

徳島県立中央病院では、平成17年度よりNST活動を開始した。

NST回診だけでなく、平成27年度より栄養に関する院内勉強会（不定期）を開催し、栄養に関する知識の普及を図ってきた。

院内勉強会では腸管使用が可能な状況下では腸管使用を推奨しており、それにより経静脈栄養（以下、PN）が減少し、経管栄養（以下、EN）が増加してきているのではないかと考えた。

今回我々は、NST活動によるPN/EN処方状況の変化を調査した。

2. 研究の方法

平成25年度から平成28年度における、TPNの処方人数および処方日数、PPN製剤の使用状況、高カロリー輸液製剤の使用状況、経腸栄養の施行人数および施行日数、TPN無菌調整件数を調査した。

3. 試料等の保存および使用方法について

該当なし。

4. 研究全体の期間と予定症例数

平成25年度から平成28年度におけるTPNまたはEN施行患者。

5. 研究結果の公表について

第56回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会にて発表する。

6. 個人情報に関して

本研究では、個人が特定されるデータを含まないが、個人情報を取り扱う場合は個人情報の保護に関する法律および徳島県個人情報保護条例を遵守する。

7. 本研究への参加を拒否する場合

該当なし。

8. 研究資金および利益相反管理について

開示すべき利益相反関係はない。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

責任者：徳島県立中央病院 薬剤部 薬剤局長 鎌田 和代

研究者：徳島県立中央病院 薬剤部 係長 長谷 良子

10. 連絡先

〒770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3

徳島県立中央病院 薬剤局

TEL:088-631-7151(代表) FAX:088-631-8354